

## 道路施政に關聯する 2.3 の問題

蒙古聯合自治政府 山 崎 浩

### 1. 緒 言

本文は筆者が奉天省在勤中、康德 5 年或る事情に依り上司に具申せるもの、一端にして、其の後に於ける施政、産業、經濟の各般に亘る急テンポの躍進の現状にある今日その内容及數値は相違せるものと認むるも職責の關係是れが調査を得ざりしため遺憾の點あるも、當時の道路愛護獎勵、賦役、國道大車通行、修路工夫の養成等の意見の概要を記述し現在に於ける施政を反省し建設過度期に於ける新興政府の今後に於ける參考資料と致したいと思ふ。

尙昨年 7 月號「道路維持と愛路獎勵に就て」なる記事と多少重複する箇所があるがお寛容を希ふものである。

### 2. 道路愛護獎勵に就て

一般民衆の道路に關する愛護觀念の喚起養成を第一目的となし、これに關する告諭及道路愛護獎勵規定を設け愛護村の設立を懲憑し、普く縣民の協力に懇へるものとする。

愛路獎勵の一部を以て修路の中堅となるべき指導者(縣技術員はもとより村代表者)を以て組織せる視察團を編成し優良道路維持修繕の實況を視察せしめ其の必要なる所以と方法を實際に知らしめ、又は各地に講習會を開催し指導者を養成し修路成績優良なるものに對しては賞品を與へて益々獎勵せしめ民衆の自覺を促はせしむる。

尙、農閑期を利用し道路品評會を開き審査の結果入賞者を決し賞品授與式を舉行の上、修路の實績を擧げこの機會に於て多年道路改良に盡瘁せられたる

功勞者を表彰し感謝狀の外、記念品を贈呈する等、愛路精神の涵養に努力せしめる。

入賞團體は從來ならば先づ以て、優勝祝賀會等を催し、賞金の大部分を費消するものなるが、かゝる惡弊を一掃し愛護作業用の器具を購入し、或は團旗を作製し其他團體基本金に繰入るゝ等、悉く有意義に使用せしめ道路愛護團體の堅實味と眞劍味とを實踐せしめる。

#### (案) 道路愛護獎勵規程

第 1 條 國道及地方道路の常時の維持修繕の成績を次の各號に依り之れを選獎す。

1. 路 面
2. 側 溝
3. 並 木
4. 賦 役

第 2 條 前條の選獎は其の成績に依り等級を定め、一街村を通じて功績狀並に賞狀を概地域數縣を通じて優勝旗を授與す。但し優勝旗は毎年の成績に依り之れを受けたる村に於て順次保有す。

第 3 條 選獎は毎年一回之れを行ふ。

第 4 條 現地出張所主任は平素管内に於ける維持修繕の成績を調査し審査の際之れが成績調査書及意見書を提出すべし。

第 5 條 道路の維持修繕成績の審査は次の標準に依り之れを行ふ。

1. 路面良好なるもの最高點數 25 點
2. 側溝良好なるもの最高點數 25 點
3. 並木手入植栽良好なるもの最高點數 10 點

4. 賦役出勤良好なるもの最高點數 40點  
計 100點

第6條 審査には、審査長及審査員を置く、審査長及審査員は土木廳職員を以て之に充つ。

審査員は概地域毎に審査を終了したる上、審査採點數を作製し審査長に提出すべし。

審査長は各審査員より提出したる審査採點表に依り等級を決定す。

### 3. 賦役に就て

康徳4年管内の國道建設及改良工事に動員されし賦役數は約1,152,000人にして、計畫路線の延長と豫算總額を對比し其の工費が半減に査定せられたる結果、是れを縣委託となし土工はもとより、構造物に於ても専ら賦役を以て之れに當らしめたる結果にして最小工費を以て豫定の目的を達し得たるは事實であるが然れども他面、縣自體に於て工作せる警備道路の新設に動員されしものは約9,600,000人の多數に達し、總戶數1,254,500戶人口8,220,000人（7市を除く）農家を其の6.2割と見做せば約777,790戶となり1戸當り12人餘徴發されしこととなる、然し是れは表面的の數字にして正規に勞務に従事せざる者其の外相當ある見込みにして動員されし過半は辨當代も支拂ひをせず純賦役に奉仕を強制されしものと推定して可なりと信ず。

康徳3年度の統計に依る縣支辦土木費410,500圓の内、辨當代として支拂ひせるもの其の約六割と見做せば出役員數8,105,400人に對する平均1人當りに對する支給額は3錢餘となる、故に民食給與に不足をつげたる結果、彼等の勞力を充分發揮するに至らず能率の減退を來たせることを想像することを得、曩に述べたる1戸當り12人餘の負擔賦役員數は管内に於ける平均率を示すものなるが、東邊道特別工作に使用せし賦役數は隔地のため所要員數を得られざる

ため1戸當り出役70~100人の相當の數に達し直接間接に地方農民の疲弊困憊を來せること想像に餘りあり、他面集團部落の集家に當りたるため耕地面積距離遠ざかり且匪禍のため農民の經濟更正に考慮すべき點あり、該地域の彼等の轉地移動甚だしく道路の建設も豫期の効果を發揮し得ざる憾あり。

縣委託工事に於ては大半一日高粱及「トモロコシ」約2升を給與なし、この代金16錢外に副食物として塩其他4錢計1人當り20錢、隔地に於ては穀物運賃の關係30~35錢程度の辨當代を支給なし賦課せられたるが、然れども隔地なるため出役賦課の宿泊を強制せしめたる結果、これに要する「アンペラ」其の他雜費に約2割を費消せるため從て間接的に辨當代の遞減を來しめたるは遺憾の次第なり。

此處に憂慮すべき點は縣に委託せる勞銀の全部が該工事の勞役に従事せる村民の懷に収まりたるや否やの點にして、縣當局自體は委託せる工事費より幾分の費用を捻出を考慮に入れ、是れを他に流用する如く見受けられたる縣2.3あり、是れは縣行政機構が復雜不統一にして其の運用に際し支障を來さなき所以にして委託工事と云へども縣歳入の別途會計に是れを計上なし會計検査を嚴とし、出面數と支拂額の適正を期し當局の意を履行せしめること緊要なり。

賦役の出動は比較的農閑期を利用する方針なりしも康徳4年度の復興工作道路に使役せる清原、興京撫順、本溪、の四縣に在りては農耕期に於ても工作に順應し出役せしめたるは詢に寒心に堪たざるものである、王道の慈光を彼等に遍ねかしむるを本旨とし工作を實施するを必要とする。

施政者としても考慮すべき點は兎角多數の賦役が一度に出動し作業方針を亂し或は監督者の不行届となり其の能率が統計上、半分以下の常態となるは詢に痛嘆に堪たざる處なり。

殊に國道維持修繕には受持區域を明かにし、之か擔當部落の賦課し得る戸數及人員、之等従業員の住所勞役場所との距離、一日の作業能率等を入念に調査をなし、建設及維持工事の修築敢行の部門を設くる必要あり。

維持修繕費は割當豫算毎年削減されつゝある形勢なるため、其の修築に對しては依り以上、地方民の自覺的行爲に待たざる可らず、故に取締規則を暫行的に制定することは目下の急務の如く見受けられ、常時修繕には常に小數宛の賦役を出勤せしめ路面の小破損修繕、側溝浚渫及並木其他路面の除草ならしめ修路工夫と協力し専心修理に勤むる様にせしめ臨時修繕には春秋二期の農閑期に於て出役し路面の砂利敷及溜砂利採取、側溝整理、等の大修理を行はしめ常時修繕には沿道8軒以内に於て1戸當り平均3人の賦役を使用せんか維持修繕に大なる効果を齎らしむものと思推す。

農民の經濟生活を破壊せざる程度の賦役賦課は社會奉仕として必要なりと思推するも其の限度に就ては相當の研究を要する、管内に於ては大體の見當は1年を通し1戸當り30人内外の賦役は支障なく然し出役期間中の給與を補償するを妥當と信ず。

現在の如く無制限に賦課する弊害を一掃し、地方農民が最も食糧の缺亡に悩む5.6月頃に於ては糧食配給の如き窮民救済を實施せざる以上は民業の振興を望むこと能はざるべし。

故に賦課制度の制定及道路維持取締規則の制定は目下の急務として要望する次第である。

#### 4. 國道大車通行に就て

管内に所屬する大車の數は康徳4年度縣稅歲入豫算に依るものより算せる數は約178,400台にして、其の内「ゴムタイヤ」の車輛を有する2輪荷馬車に改良せるもの相當ある見込なり。各縣とも荷馬車取

締規則を暫行的に規定し、國道及警備道路に進入することを禁止し、若し是れに違反せる場合には相當の罰金を徵集する等、其の防止に相當苦心をしつゝあることは事實なり。

改良鐵輪荷馬車は依然として通行を禁止する状態なるため其の改良は普及せず閉塞状態にあり、若し是等の改良荷馬車を通行せしむるものとせば在來車との判別は一見して不可能なることは事實にして標識等に依り表示せしむると雖も、現在より以上、其の警戒に對して支障を來す如く見受けられ、其の點は考慮すべきものと思推す。

路床の状態を観察するに國道は多少なりとも敷砂利撒布をなし耐久力はあるも、警備道路に於ては殆ど敷砂利をせず全く土砂道なるもの殆んどにして改良の車輪幅7.5呎のものを運行せしめんか忽ちにして路面の破壊を來し、其の復舊には沿道地方民の受ける維持勞力換算金は是れを通行せしめる荷馬車の輸送量の受ける利益に比し相當の差額あることは現在の路面状態なり。

縣當局に於ては現在、警備道路完成のため全力を傾注し其の計畫の新設を急ぎつゝあるため、既設道路の維持若は改良に依り以上、地方民の出役せしむることは過重なる負擔を感ぜしめ、延いては施政に及ぼす影響少からずと認むるものなり。

縣の既定計畫の警備道路完成の曉は、是等一般路面の維持に常時修繕せしむる際は改良馬車の通行も考慮に及ばずものと認むるも當初は相當の犠牲を拂ふ必要ありと思推す。

故に格くの如き状態なるため縣當局自體として卒進的に改良鐵輪荷馬車を通行を阻止する傾向あることは事實なり。

積極的にその改良普及を計ることは格くの如き状態なるため不可能にあることを施政者として認める

處なるが、現在自然の成行きに委せて豫想以上、改良せられて「ゴムタイヤ」2輪車に就て妥當適切な處置を講じ是れを如何にして圓滑に且つ速かに普及せしむるか問題である。

道路保護の見地より考察するとき、其の車輛の自重も減少せられ、且廻轉抵抗の減少をも來し車輪幅の荷重も、鐵輪荷馬車7.5輦に比し2.0~2.5倍の増加を來たしたため單位幅當りの荷重の輕減するため道路の損傷も現在の自動車に比し低速度なるため其の損傷は問題にされず。

管内の荷馬車の新造は殆ど「ゴムタイヤ」2輪車にして縣當局に於ても是れに對して、普及保護政策を施しつつあり。或る縣に於ては低利資金を利用し月賦償還方法に依り借付をなし、獎勵しつつあり、其の通行は裏に述べたる如く國道及警備道路を許可しつつあるため農民殊に穀物運送業者は競て、この購入に努力しつつある現状なり。其の價格は鐵輪荷馬車に比し約1.8~2.0倍高價なるも、國道及警備道路を通行出来る關係、積載荷重は現在の荷馬車に比し約1.5~2.0倍、輸送運搬速度に於て約2.0倍に増加することを得、故に當初の固定資金の回収には鐵輪荷馬車に比し早く回収出来る状態にあり。

故に時代の要求と共に益々研究すべきものは「ゴムタイヤ」2輪車なりと思推す。

政府に於ても、現在の如く自發的の改良に依らず相當の補助金の支給をなし既設の荷馬車製造會社の内容を充實し規定年度内に大半改良せしむ可く大量製作をならしめ廉價配給を行ふか又は適當なる方法に依り補助政策の確立を圖り、地方民の自治的維持修繕に協力と相待て國策に順應せしむる様に努力せしむ可きである。

荷馬車價格表(康徳5年1月調)

名 稱	價 格	摘 要
改良鐵輪荷馬車	圓 75~80	規格に依るもの、車合は20圓内外とす。
舊式 同	47~55	規格に準應するもの、車合は20圓内外とす
改良ゴムタイヤ荷馬車	150	
舊式 同	90~110	

備考 本調査は奉天荷馬車組合の調査に依る。

### 5. 修繕工夫養成に就て

従來道路修繕の事項は道路の新設、橋梁の架設の事業と違て往々にして輕視閑却され易く從て之れに従事する修路工夫が風雨寒暑の苦を凌で働く其の動作も社會より閑却視さるゝの嫌あるのは實に痛嘆に堪たざるものなり。又彼等もかかる環境にあるため充分、自己の職責を全うし得ざる感あり故に精神的にも物質的にも意を強くせしむるため、現在の待遇の改善を圖り物質的に恩惠を與たしめ且、被服給與規定を設け被服一切の給與をなし充分の手腕力量を發揮せしむる。

現在の如く道路愛護の實蹟も擧らず豫算も僅少なる際は、修路工夫の自發か觀念に依り専心従事の任に當る外なく其の勉勵方法として修路工夫表彰規定を設け業務に精勵せしめ其の擔當とする道路の維持修繕の狀件優良と認むるものに對して表彰をなす必要あり。

道路維持に於ては殊に最少工費を以て最大効果を擧げるためには多年の經驗と努力とを要するものにして修路の工法が當を得ないならば所期の目的も努力も達成することは至難であるが故、彼等に其の修築方法を習得せしむるためには講習會等を開き且、修路工夫必携なる參考資料を發行し萬遺憾なきを期する必要あり。

工夫の勤務の嚴格を期するは目下の急務にして是

れに當る專屬の道路監視員の制度を設け毎月尠なくとも2回以上管内全部の道路を巡廻し、各地駐在の修路工夫に次回巡視までの勤務割を與へ作業を督勵せしめる必要がある。

### 結 語

大體以上が是等の問題に就ての當時の所懐である

が現在は多少違ふ關心を以てゐるが大局の思想には變らない。此の際、時局の推移を大局的に認識し國策大事業の遂行のため其の自覺と發奮を望むものである。

最後に滿洲土木研究會のより良き發展を念願しつゝ筆を擱く。

## ◆ 本 會 販 賣 圖 書 ◆

### セメント・コンクリート試験方法規準

著者 前田 稔 赤澤常雄 定價 ¥2.20

### ロシヤ土木工學の研究

著者 原田千三 定價 ¥2.50

### 第 3.4 回土木講習會講演集

日本ポルトランドセメント同業會編纂

定價 ¥1.20 (但シ會員ニ限り) ¥1.00)

### 寒中コンクリート工法

著者 勝海恭次郎 定價 ¥3.00